



# Monthly YSFH News (Electronic version)

発行:横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644  
HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

台風も過ぎ去り、本格的な秋の到来を感じる頃となりました。「蒼煌祭」や「y s f FIRST」といった大きな行事も終わり、3年次生のある生徒は「受験に向けて勉強を頑張ります。」と決意を聞かせてくれました。「蒼煌祭」には、多くの方にご参加いただき盛況のうちに終了しました。特に展示のご参加をいただいた科学技術顧問の皆様には、魅力的な展示をいただき来場者の方々にもとても好評でした。ご多忙の中にもかかわらず、前日からご準備いただき、心より厚くお礼を申し上げます。

今月末には、2年次生は「マレーシア海外研修旅行」での英語による発表、1年次生は英語で科学を学ぶ「サイエンス・イマージョン・プログラム」が予定されています。世界で幅広く活躍する人材となるよう、様々な経験をさせていきたいと考えています。

## 【第4回 マス・フェスタ (全国数学生徒研究発表会)】 (8月25日)



大阪府立大手前高等学校主催の第4回マス・フェスタ (全国数学生徒研究発表会)に参加しました。本校からは、サイエンスリテラシーⅡの情報通信・数理分野を選択している生徒4名が参加し、それぞれが数学に関するポスターセッションを行いました。「自分の研究をもっと聞きたいと名刺をくれた先生や、YSFHについて質問してくれた方など、色々な人と交流できポスターセッションを楽しむことができた。」と充実した一日だったようです。

- ・2年次 増田 卓斗 「ウラムの螺旋と三角数」
- ・2年次 高田 一真 「最も響く音階は何か」
- ・2年次 佐藤 佑美 「色立体と人間の目」
- ・2年次 巴 統哉 「四角形のできる確率」

## 【サイエンスリテラシーⅡ分野別発表会】 (9月1日)

本校2年次生は「生命科学分野」、「環境・化学分野」、「ナノテク材料・物理分野」、「情報通信・数理分野」、「地球科学分野」の中から1分野を選択し、テーマを決めて研究を行います。

「サイエンスリテラシーⅡ分野別発表会」では、4月からの研究成果を発表しました。10月に行われる「マレーシア海外研修旅行」では全2年次生が英語で研究成果の発表を行い、今回の分野別発表会で優秀者10名に選ばれた生徒はマレーシア科学大学でプレゼンテーションを行います。



## 【サイエンスリテラシーⅡ 優秀者発表】 (9月7日)

### ●生命科学分野

増山 七海 「身近な廃棄物の資源化」

菅原 遼 「光の照射が腐朽菌に与える影響について」

### ●環境・化学分野

石井 里奈 「納豆の”うまみ”の変化」

鈴木 漱星 「葉緑体による人工光合成生物」

### ●ナノテク材料・物理分野

山本 理紗 「C60フラーレンナノウィスカーに光が与える影響」

永井 瞭 「流体解析」

### ●情報通信・数理分野

長田 一馬 「手の動きでPCを動かすUIの開発」

綱島 卓也 「ニュースを瞬時に取得する方法の開発

～ウェブブラウザ履歴解析機能の実装～」

### ●地球科学分野

熊澤 亜未 「地盤の違いによる計測震度の差」

竹村 英晃 「太陽質量の算出と寿命の推定」

## 【サイエンスリテラシーⅠ : Global Warming Series】 (9月10日)

「日本語-英語でのプレゼンテーション」を目的とし、全5回にわたって行われます。

第2、3回では特別講座として東京理科大学 草間郁夫 先生や、神奈川大学 久保野雅史 先生に「効果的なプレゼンテーション」や「プレゼンテーションのための英語暗唱・音読」などをご指導いただき、最終回ではグループごとに英語でのプレゼンテーションを行います。この一連の授業は、次年度のサイエンスリテラシーⅡにおける研究成果発表の準備になっています。



## 【YSFH BUDDY ミーティング】（9月12日）



「YSFH BUDDY(バディ)」とは、登録数100名を超える国際交流プログラムのボランティア組織です。海外の連携校である「シンガポール国立大学附属理数高校」や「ディビット・トンプソンセカンダリースクール」などが来校される時に、受け入れプログラムの中心を担います。

写真は「ysfFIRST2012」（横浜サイエンスフロンティア国際科学フォーラム）についての連絡を行っているところで、バディはお客様を（独）理化学研究所横浜研究所などに案内し、またホストファミリーにもなりました。

こういった経験をとおして「世界で幅広く活躍する人間」に近づいてほしいと思います。

## 【第4回 蒼煌祭】（9月15日、16日）

今年度の来校者数は2日間合計で約4,500名と、大変多くの方にご来校いただきました。今年度のテーマは「躍」でした。各クラスが全力で創った発表や展示、本校ならではの部活動の発表、サイエンスリテラシーⅡの発表など、まさに胸が躍るような企画が盛りだくさんでした。

今年度の【企業・研究機関展示】にご協力いただきました（50音順）

- ・(株)京三製作所
- ・(株)島津理化
- ・(株)鶴見精機
- ・(株)東芝
- ・日本電信電話(株)
- ・日本マイクロソフト(株)
- ・独立行政法人理化学研究所横浜研究所
- ・独立行政法人海洋研究開発機構



## 【サンモールサイエンスリサーチプロジェクト】（9月19日）



本校生徒7名がサンモール・インターナショナルスクールの「サイエンスリサーチプロジェクト」に参加しました。サンモール生の各グループに本校生徒1名が加わり、約7時間にわたり様々な実験を体験し、たくさんの友達をつくることができました。

### ●参加生徒感想●

「英語を話す人の中に一人でいたことはなかったので、はじめは戸惑うことが多かったのですが、時間がたつにつれて慣れていきました。楽しく実験することができ、来年もぜひ参加したいです。また、このプログラムに参加して自分の英語力がどれだけ低いかが分かったので、これからの学習に力を入れていけると思います」

## 【ysfFIRST2012】（9月21日）

「ysfFIRST2012」（The Yokohama Science Frontier Forum for International Research in Science and Technology 2012）を開催しました。コアSSHの中核事業として行っているもので、国内SSH校や国内外の連携校が来校し研究発表のプレゼンテーションやポスターセッションを行いました。

本フォーラムは研究報告だけでなく、広く友人を作ることも目的となっています。表彰式後に行われた「科学系部活動交流」では本校周辺を生徒が案内するなど、確かな関係が築けていると実感しました。



## 【後期和田サロン】（9月27日）



「後期和田サロン」が始まりました。

第1回のテーマは「不可能立体 われわれは“立体”を“平面”上にどのように見るか？」であり、和田先生からは「当たり前と思えるものでも、別な方向から見るのがサイエンスの基本」というお言葉をいただきました。また、「なるべく話題を広く拾い、スライドを多く使って、視覚的に生徒たちの想像をかき立てたい」という和田先生のお考えどおり、「どうすれば不可能立体をつくれるか」など、時間を延長するほど活発な議論が展開されました。

## ●10月、11月の予定●

10月7日：蒼煌会(同窓会)臨時総会

11月3日、4日：学校説明会

10月9日～12日：2学期中間テスト

11月22日：SLⅡ優秀者発表会・科学技術顧問会議

10月22日～26日：2年次 マレーシア海外研修旅行

10月23日～25日：1年次 サイエンス・イマージョン・プログラム